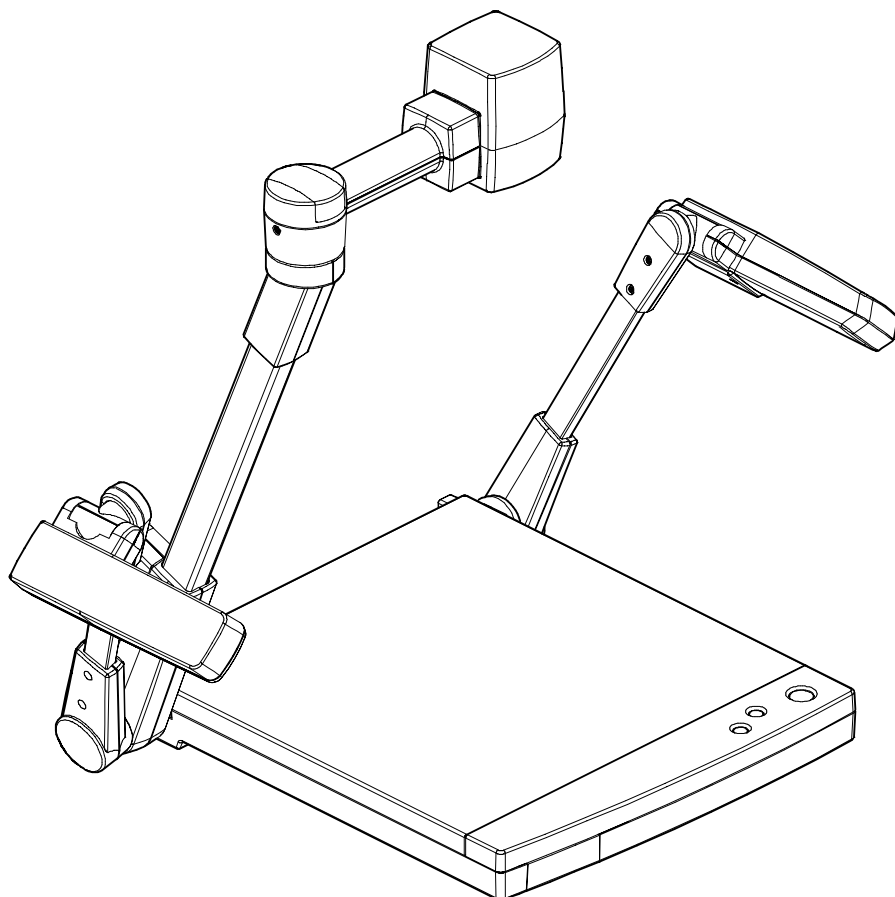


EPSON

マルチメディアビューワー

ELPDC04

取扱説明書



このたびは、エプソンマルチメディアビューワーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に、保証書とともに必ず保管してください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

保証書別添付

安全上のご注意

安全にお使いいただくために — 必ずお守りください

この「安全上のご注意」は、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。

ご使用前によく読んで大切に保管してください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味



名称：注意

意味：注意しなければならないことを示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。



名称：禁止

意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。



名称：接触禁止

意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的内容が描かれています。



名称：分解禁止

意味：製品を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的内容が描かれています。



名称：強制

意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。



名称：電源プラグをコンセントから抜け

意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的内容が描かれています。

警告

次のような異常のときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはエプソンの修理センターにご相談ください。

- ・煙が出ている、変な臭い、変な音がする。
- ・本機内部に水や異物が入った。
- ・本機を落としたり、ケースを破損した。

そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。

お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。



サービスマン以外の方は、『取扱説明書』で指示している場合を除き、本機のケースを開けたりしないでください。また、本機の分解・改造は、絶対にしないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。



表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
指定以外の電圧を使うと、火災・感電の原因となります。



破損した電源ケーブルは、使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

また、取り扱いの際は、次の点を守ってください。

- ・電源ケーブルを加工しない。
- ・電源ケーブルの上に重いものを載せない。
- ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- ・電熱器の近くに配線しない。

電源ケーブルが破損したら、販売店またはエプソンの修理センターにご相談ください。



電源プラグ・電源コネクタの取り扱いには注意してください。

取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。

取り扱いの際には、次の点を守ってください。

- ・たこ足配線はしない。
 - ・電源プラグ・電源コネクタはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
 - ・電源プラグ・電源コネクタは根元まで確実に差し込む。
 - ・電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しない。
 - ・濡れた手で電源プラグ・電源コネクタの抜き差しをしない。
 - ・電源プラグ・電源コネクタを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らない。
- 必ず、プラグやコネクタ本体を持って抜く。



本機の上に花瓶・水の入った容器・薬品などを置かないでください。
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。



本機の吸気口・排気口から、金属類・燃えやすい物・異物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
火災・感電の原因となります。



本機または電池の入ったリモコンを、窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。





警告

雷が鳴り出したら本体、接続ケーブル、電源プラグなどには触れないでください。
感電の原因となります。



注意

本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



ぐらついた台の上・傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。キャスター付きの台に設置する場合には、キャスター止めをしてください。



小さなお子様の手の届くところには、設置・保管しないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります



湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような場所には設置しないでください。

- ・押し入れ・本箱の中など、風通しの悪い狭いところ。
- ・じゅうたん・布団・毛布などの上。
- ・毛布・カーテン・テーブルクロスのような布をかけない。

また投写中、本機底面のエアフィルターに、布や紙などが吸着されることがあります。本機の下には吸着されるおそれのある物は置かないでください。

壁際に設置する場合は、壁から20cm以上の隙間を開けてください。



本機をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。



本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線ははずしたことを確認してから行ってください。
火災・感電の原因となることがあります。



乾電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する原因となることがあります。次のことを守り、安全にお使いください。

- ・種類の違う電池・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- ・取扱説明書指定の電池以外は使用しない。
- ・電池から液がもれた場合は、もれた液を布などで拭き取り、新しい電池と交換する。
- ・交換時期がきたら、電池をすぐに取り出す。
- ・長時間使用しないときは、電池を取り出す。
- ・電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まない。
- ・極性（＋、－）を正しく入れる。
- ・もれた液が手などに付着した場合は、すぐに水で洗い流す。

乾電池を廃棄するときは、その地域の回収ルートに従ってください。



お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクタをコンセントから抜いて行ってください。
感電の原因となることがあります。



使用上のご注意

- 本機は日本国内用に作られたものです。必ずAC100V、50Hzまたは60Hzでお使いください。
電源の異なる外国ではご使用になれません。
- 保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。
変色、変形、故障の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所、潮風の当たる場所、振動の多い所には置かないでください。
使用上の環境条件は次のとおりです。
温度：5℃～40℃ 湿度：30%～85%以下（結露しないこと）
- 本機の清掃は、乾いたやわらかい布で拭いてください。
シンナーやベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。
- カメラレンズを直接太陽に向けしないでください。撮影不能になることがあります。
- レンズを素手でさわらないでください。
レンズ面に指紋や皮脂が付くときれいに投写できません。
- 保管の際にはリモコンから電池を取り出しておいてください。
長期間電池を入れたままにしておくと、液もれなどを起こす原因になります。
- 高圧電線や磁気を発生するものの近くには設置しないでください。
正しく動作しない場合があります。
- 電波障害自主規制について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に
近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- スライド・書籍・写真等は個人で楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で録画できませんのでご注意ください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソン及びエプソン指定の者（裏表紙参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、及びエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

商標について

XGAは、米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
VESAは、Video Electronics Standards Associationの登録商標です。
Panasonicは、松下電器産業株式会社の登録商標です。
EPSONは、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

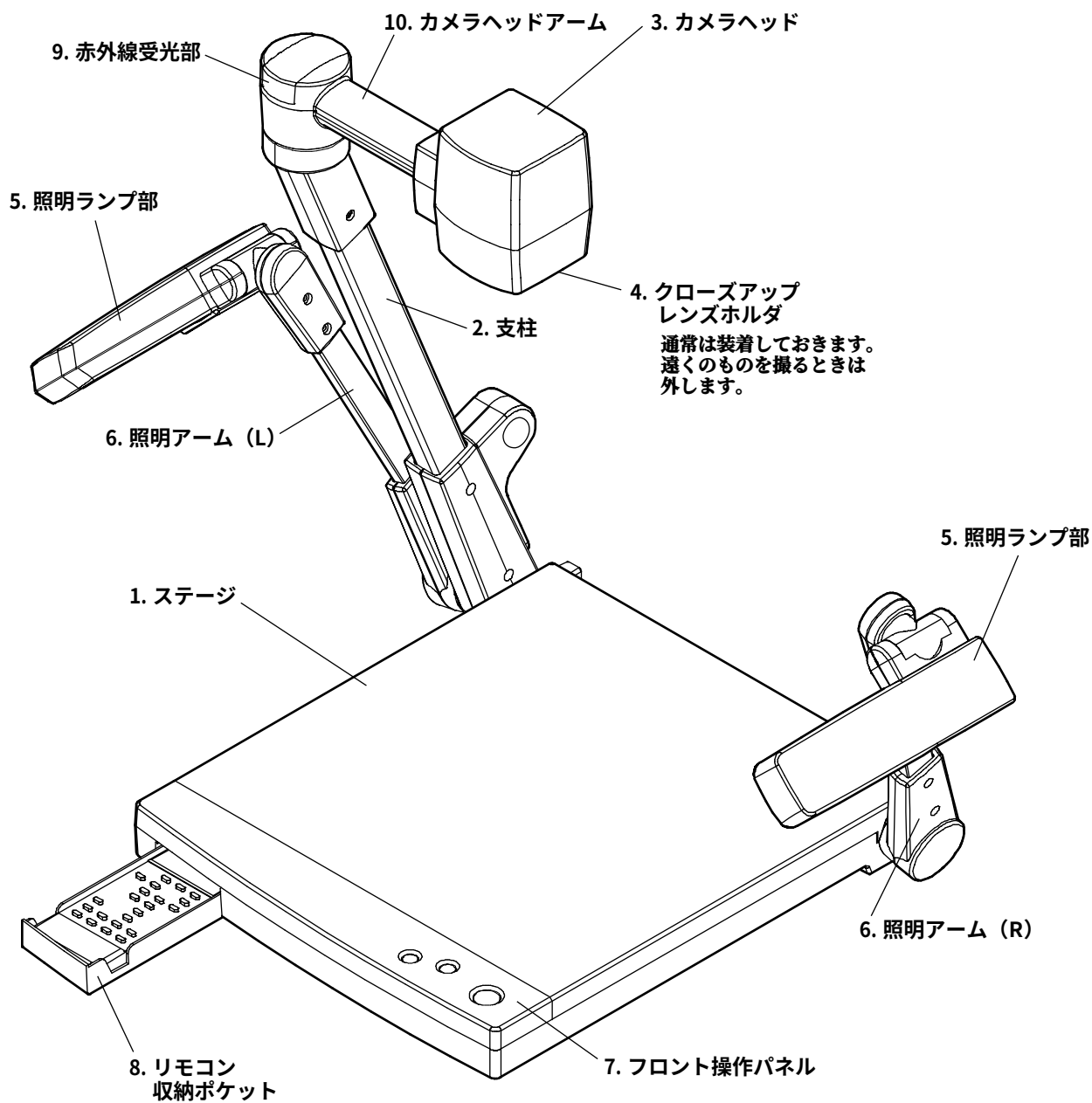
もくじ

1. 各部の名称	8
外観	8
フロント操作パネル	9
背面パネル	9
ワイヤレスリモコン	11
2. ワイヤレスリモコンについて	12
準備	12
3. マウスについて	12
4. 本体のセットアップ	13
本体の準備	13
プロジェクター、モニターとの接続	14
RGB入力信号について	15
RGB出力信号について	15
5. 資料提示の操作手順	16
印刷物などの資料を提示する場合の簡単な操作手順	16
カメラとして使用するとき	16
6. 本体の収納	17
7. 各種機能	18
照明	18
ズーム（倍速機能付）	18
ポインター	19
フォーカス	19
アイリス（絞り）	21
フリーズ	21
オートホワイトバランス	21
パソコンリンクソフト「Image Mate」について	22

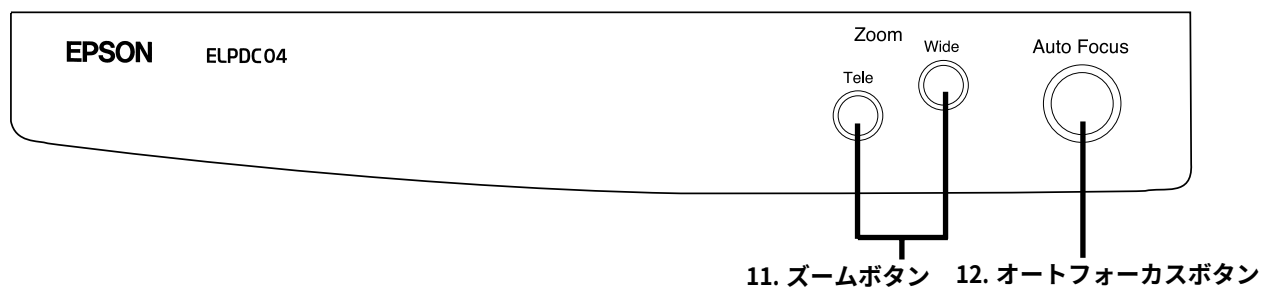
8. OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）	23
メニューの表示とマウス操作について	23
メニュー	24
9. 蛍光ランプの交換	26
10. 故障かな？と思ったら	27
11. 仕様	28
総合仕様	
カメラ部仕様	
照明装置	
付属品	
12. 保証とアフターサービス	30

1. 各部の名称

○外観

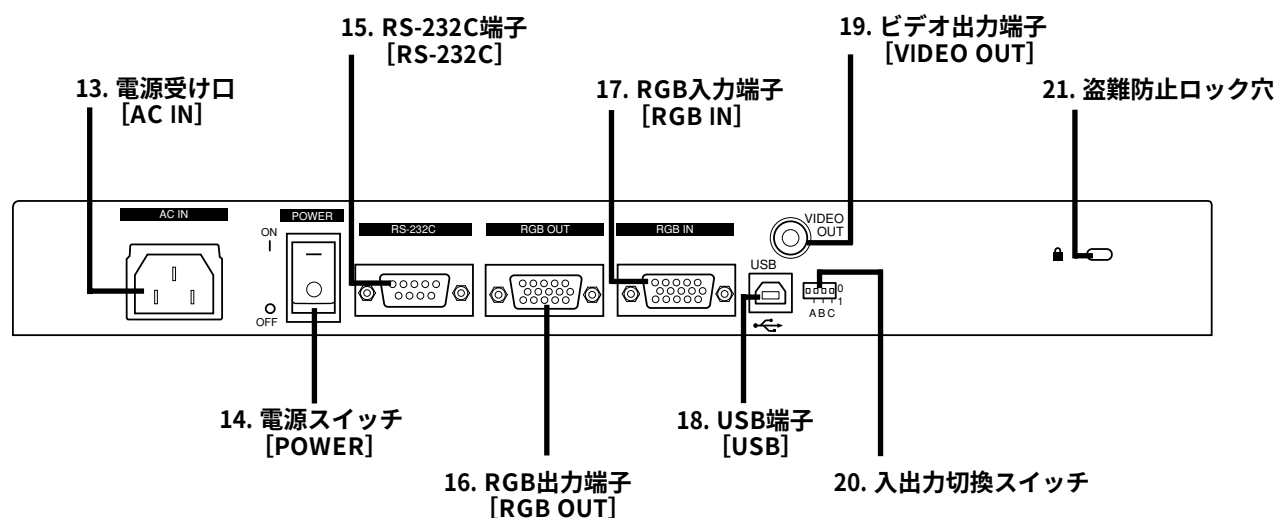


○フロント操作パネル



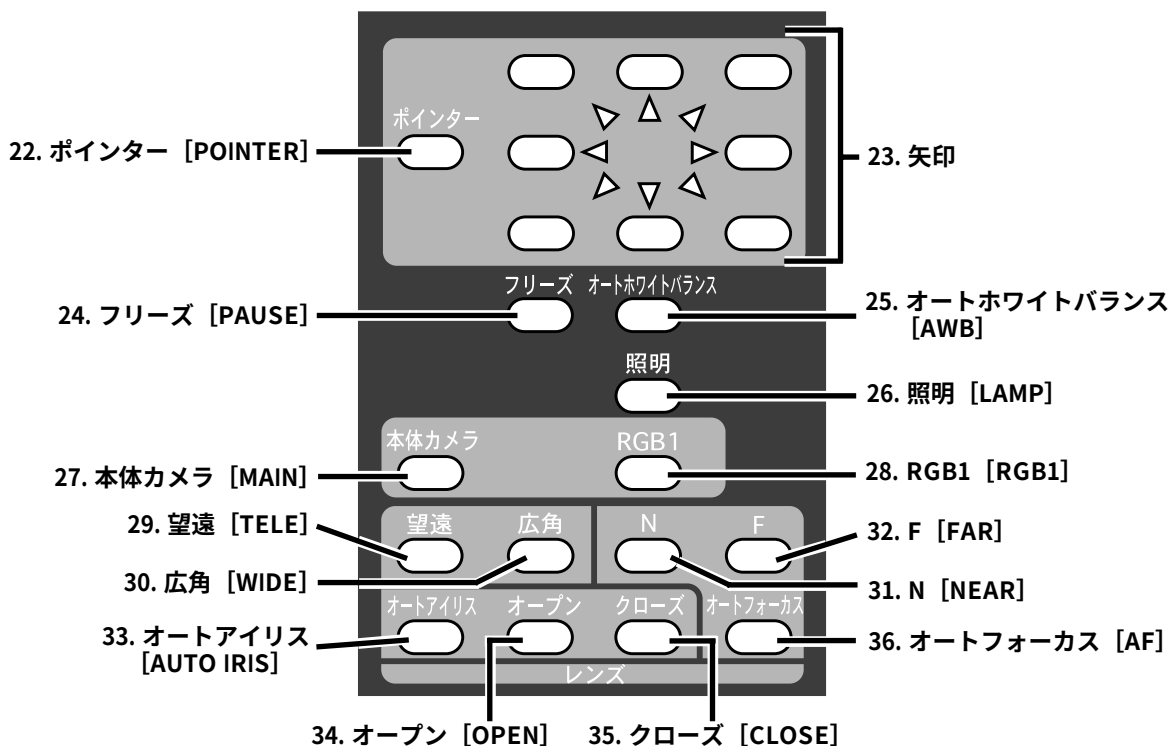
	名称	働き	参照ページ
11.	ズームボタン	映像のサイズを変えるときに使用します。	P.18, P.19
12.	オートフォーカスボタン	自動でピント合わせをするときに使用します。 ワンショットオートフォーカス方式です。	P.16, P.19

○背面パネル



	名称	働き	参照ページ															
13.	電源受け口 [AC IN]	電源コード（本機付属品）のコネクタを接続します。	—															
14.	電源スイッチ [POWER]	電源のON／OFFに使用します。	P.16															
15.	RS-232C端子 [RS-232C]	マウス（本機付属品）のコネクタを接続します。 マウス（本機付属品）を使う場合は、入出力切換スイッチ [C] キーを [0] 側にします。	—															
16.	RGB出力端子 [RGB OUT]	機器の映像入力端子とコンピュータケーブル（本機付属品）で接続します。（RGB映像信号が出力されます。）	P.14															
17.	RGB入力端子 [RGB IN]	機器の映像出力端子とコンピュータケーブル（機器の付属品）で接続します。（RGB映像信号を入力します。）	—															
18.	USB端子 [USB]	パソコンのUSB端子とUSBケーブル（本機付属品）で接続します。 パソコンで「Image Mate」（本機付属品）の使用が可能になります。	P.22															
19.	ビデオ出力端子 [VIDEO OUT]	機器の映像入力端子とビデオケーブル（本機付属品）で接続します。 （コンポジットビデオ映像信号が出力されます。）	P.14															
20.	入出力切換スイッチ	入出力切換えが行えます。 ○ [A] キー TV出力の切換えを行います。 ┌ NTSC └ PAL ○ [B] キー シャッターの切換えを行います。 シャッターの電源周波数が50Hzの地域（関東地方など）では、蛍光灯・水銀灯などの交流放電管照明による画面のチラツキ（フリッカー現象）が出る場合があります。スイッチを50Hz側に切換えると、このチラツキを軽減できる場合があります。 ┌ 60Hz └ 50Hz ○ [C] キー RS-232Cの切換えを行います。 ┌ マウス使用 └ 本体制御 キー配列と機能 <table><tr><td></td><td>空白</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td></tr><tr><td>0</td><td>—</td><td>NTSC</td><td>60Hz</td><td>マウス</td></tr><tr><td>1</td><td>—</td><td>PAL</td><td>50Hz</td><td>制御</td></tr></table>		空白	A	B	C	0	—	NTSC	60Hz	マウス	1	—	PAL	50Hz	制御	P.12, P14
	空白	A	B	C														
0	—	NTSC	60Hz	マウス														
1	—	PAL	50Hz	制御														
21.	盗難防止ロック穴	盗難防止用ワイヤーの錠差し込み穴です。	—															

○ワイヤレスリモコン



	名称	働き	参照ページ
22.	ポインター [POINTER]	画面上にポインターを表示するときに使用します。	P.19
23.	矢印	ポインターを移動するときに使用します。	P.19
24.	フリーズ [PAUSE]	映像を一時的に静止させるときに使用します。	P.21
25.	オートホワイトバランス [AWB]	自動でホワイトバランスを取るときに使用します。	P.21
26.	照明 [LAMP]	照明のON/OFFに使用します。	P.18
27.	本体カメラ [MAIN]	映像出力を本体カメラ映像へ切換えるときに使用します。(RGB出力端子 [RGB OUT] のみ)	—
28.	RGB1 [RGB1]	映像出力を映像入力端子 [RGB IN] の映像へ切換えるときに使用します。(RGB出力端子 [RGB OUT] のみ)	—
29.	望遠 [TELE]	望遠側へズーミングするときに使用します。	P.18, P.19
30.	広角 [WIDE]	広角側へズーミングするときに使用します。	P.18, P.19
31.	N [NEAR]	ピントを手前側へ移動するときに使用します。	P.20
32.	F [FAR]	ピントを遠方側へ移動するときに使用します。	P.20
33.	オートアイリス [AUTO IRIS]	自動アイリス (絞り) にするときに使用します。	P.21
34.	オープン [OPEN]	任意にアイリス (絞り) を開くときに使用します。	P.21
35.	クローズ [CLOSE]	任意にアイリス (絞り) を閉じるときに使用します。	P.21
36.	オートフォーカス [AF]	自動でピント合わせするときに使用します。	P.16, P.19

2. ワイヤレスリモコンについて

赤外線が発光部を本体の受光部に向けて希望の動作のボタンを押します。

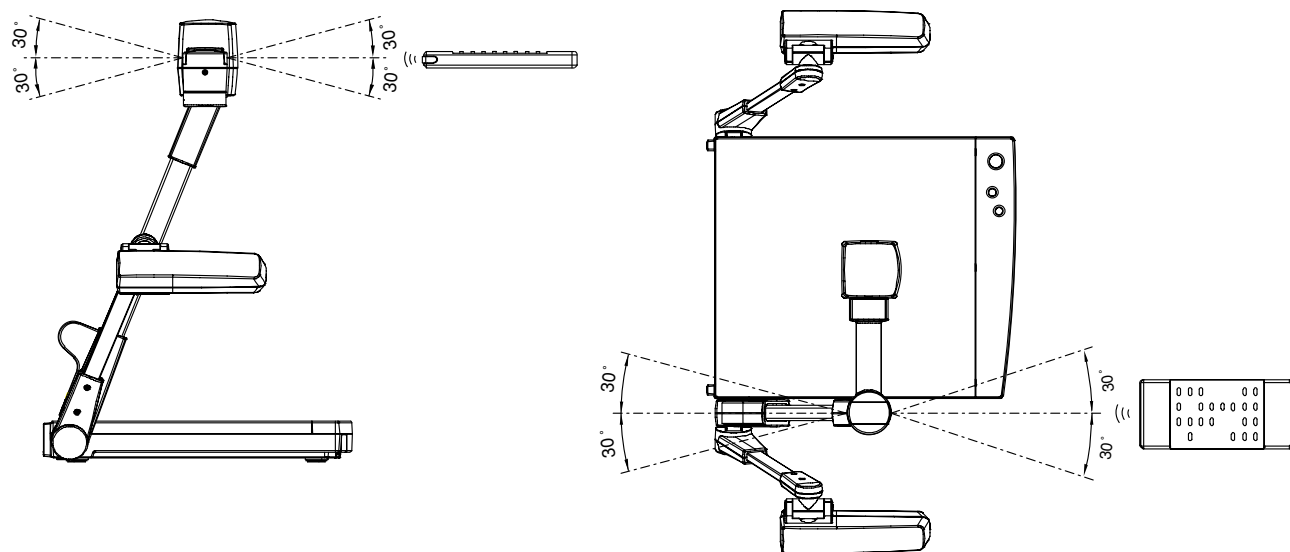
太陽光やインバータ蛍光灯の近く等、周囲の状況により受信可能範囲が短くなることがあります。

また蛍光灯等の条件により受信しないことがあります。その場合は本体の設置場所を変更するなどの対処をしてください。

受信可能範囲

距離 : リモコン受光部正面から約7m以内

角度 : リモコン受光部から上下左右約30°以内



○準備

裏面の電池ケースカバーを、[▼] マーク部分を押し下げながら矢印の方向にずらして外します。

電池ケース内の表示の向きに従って、単4形乾電池2個を入れます。

[注] +-の極性は指示通り正しく入れてください。

[注] 乾電池は必ず単4形をご使用ください。

[注] 乾電池の寿命は使用条件、種類により異なりますが、約1年で新しいものと交換してください。

[注] 付属の乾電池は、動作確認用のものですので、有効使用期間は保証されません。

[注] 必要に応じて和文操作パネルを英文操作パネルの上に貼り付けてご使用ください。

3. マウスについて

入出力切換スイッチの [C] キーにおいて、[0] を選択し、背面パネルのRS-232C端子にマウスを接続します。これにより「OSD」「ポインター」の表示および操作ができます。

参照

- | | |
|------------------------|------|
| ・ポインター | P.19 |
| ・メニューの表示と
マウス操作について | P.23 |

4. 本体のセットアップ

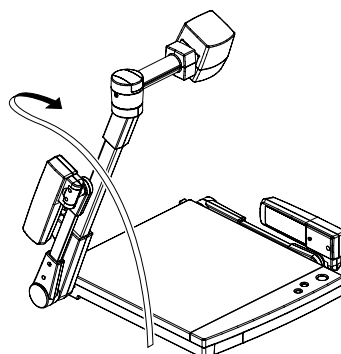
○本体の準備

(1) 支柱を起こします。

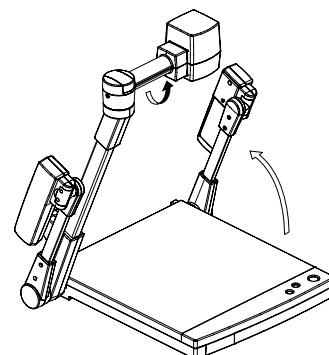
右図のように支柱を一度起こしきってから、支柱にロックがかかるまで戻します。

〔注〕 照明アーム（L）部は単独で起こすことができません。

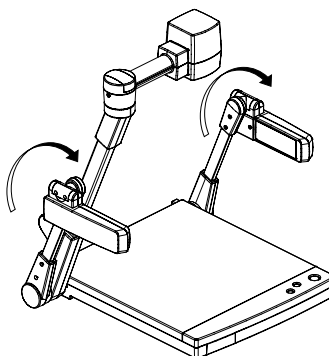
〔注〕 支柱を起こしきらないと、支柱にロックがかからない場合があります。



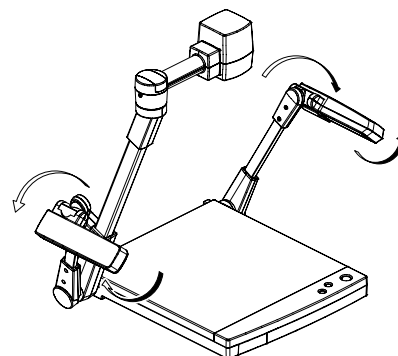
(2) 照明アーム（R）部を起こし、カメラヘッドを回転させ、レンズ部をステージの方へ向けます。



(3) 照明ランプ部を回転させます。



(4) 照明アーム部、照明ランプ部を開きます。



(5) 電源コードを本機の電源受け口およびコンセントに接続します。

○プロジェクター、モニターとの接続

本機では、入出力切換スイッチによって映像出力の切換えを行えます。接続する環境に合わせてご使用ください。出荷時の設定は下表の通りです。

キー	機能	初期設定	
		キー選択	内容
空白	—	—	—
A	TV出力方式の切換え	0	NTSC
B	シャッターの切換え	0	60Hz
C	RS-232Cの切換え	0	マウス使用

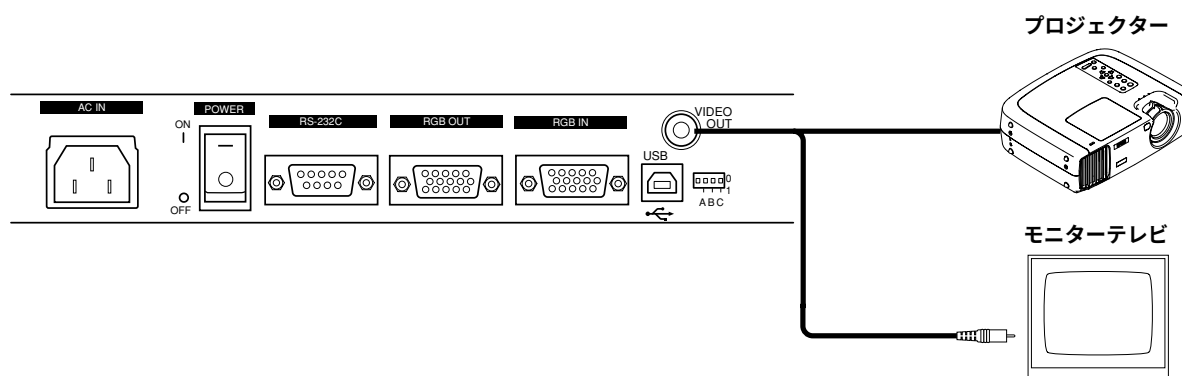
[注] 本機および接続する周辺機器を保護するため、接続するときは必ずすべての機器の電源スイッチをOFFにしてください。

[注] 入出力切換スイッチのキーを切換えるときは、必ず本機電源スイッチをOFFにしてください。

[注] ビデオケーブルを抜き差しするときは、ケーブルのプラグを持ってください。

●コンポジットビデオ入力端子を持つ機器との接続

本機ビデオ出力端子 [VIDEO OUT] と付属のRCAピンプラグ付きビデオケーブルで接続してください。



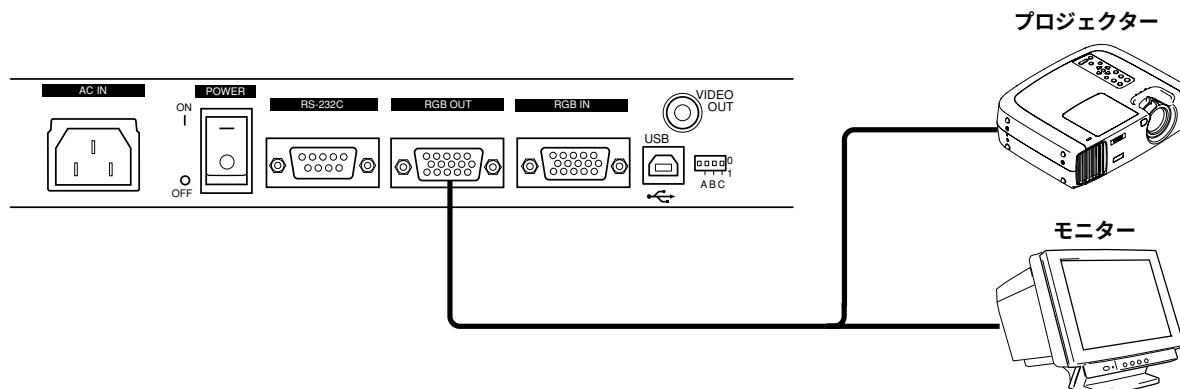
[注] ビデオ出力端子 [VIDEO OUT] からの出力映像は、本体カメラ映像のみです。

●RGBビデオ入力端子を持つ機器との接続

本機RGB出力端子 [RGB OUT] と、RGBビデオ入力端子を持つ機器を付属のコンピュータケーブルまたはプロジェクターのコンピュータケーブルで接続します。

このとき、表示の位置が中心からずれることがあります。プロジェクター側で水平、垂直位置のマニュアル調整してください。

また、プロジェクターでは、画面に縦縞が現われることがあります。プロジェクター側のトラッキングまたはシンクを調整することで、軽減することができます。

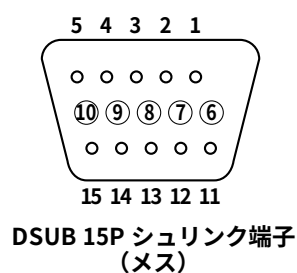


○RGB入力信号について

●信号割付

ピンNo.	名 称	ピンNo.	名 称	ピンNo.	名 称
1	映像信号（赤）	6	GND（赤）	11	GND
2	映像信号（緑）	7	GND（緑）	12	N.C
3	映像信号（青）	8	GND（青）	13	水平／複合同期信号
4	N.C	9	N.C	14	垂直同期信号
5	GND	10	GND	15	N.C

●端子配列



入力信号

映像信号	アナログ	0.7V(p-p)	75Ω終端
水平同期信号	TTLレベル	(正／負極性)	
垂直同期信号	TTLレベル	(正／負極性)	
複合同期信号	TTLレベル	(正／負極性)	

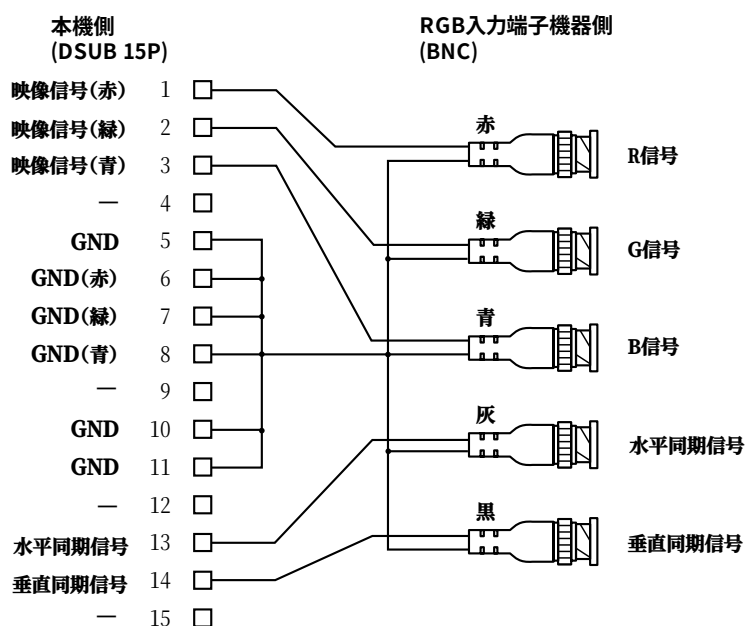
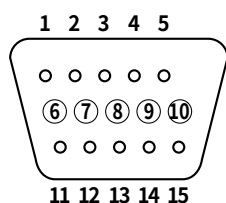
○RGB出力信号について

●信号割付

ピンNo.	名 称	ピンNo.	名 称	ピンNo.	名 称
1	映像信号（赤）	6	GND（赤）	11	GND
2	映像信号（緑）	7	GND（緑）	12	N.C
3	映像信号（青）	8	GND（青）	13	水平同期信号
4	N.C	9	N.C	14	垂直同期信号
5	GND	10	GND	15	N.C

●端子配列とアナログRGBケーブルの結線

DSUB 15P シュリンク端子
(オス)



5. 資料提示の操作手順

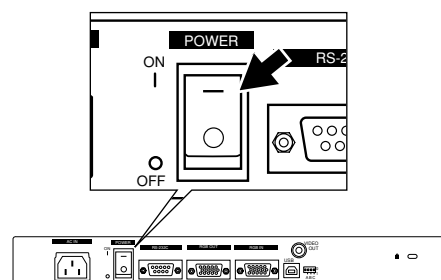
○印刷物などの資料を提示する場合の簡単な操作手順

(1) 電源スイッチをONにします。

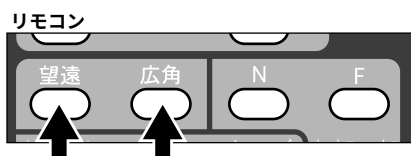
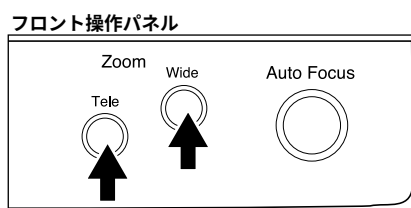
[注] プロジェクターとの接続は前もって行ってください。

[注] プロジェクターの電源を前もって「ON」にしてください。

[注] 電源スイッチをOFFにした直後にONにした場合は、本機が作動しないことがあります。再起動の場合は、数秒おいてから電源スイッチをONにしてください。

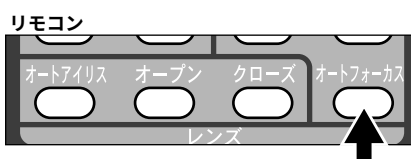
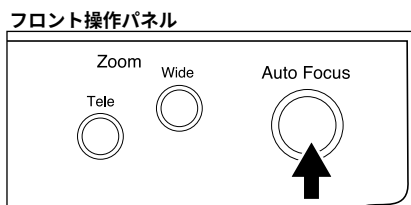


(2) ステージ面に被写体を置き、被写体の大きさに応じて画像を見ながらフロント操作パネルまたはリモコンの【望遠】(TELE)・【広角】(WIDE)ボタンで画像のサイズを調整します。



(3) フロント操作パネルの【AUTO FOCUS】ボタンまたはリモコンの【オートフォーカス】(AF)ボタンを押し、ピントを合わせます。

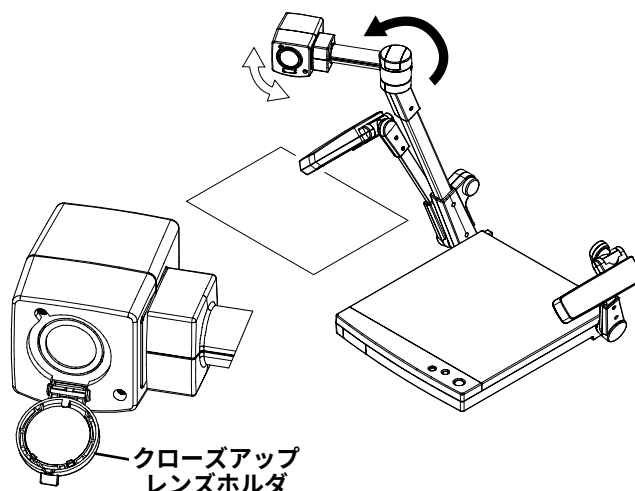
[注] ピントが合う範囲は、ズーム【望遠】(TELE)最大側でステージから約15cmの高さまでです。(クローズアップレンズが装着されている状態)



○カメラとして使用するとき

カメラヘッドアームを図のように回転させれば、ステージ上以外の資料が撮影できます。
また、カメラヘッド部を水平位置にセットすれば、壁面・遠景等が撮影できます。
被写体が遠距離のときは、クローズアップレンズホルダを手前へ開きます。

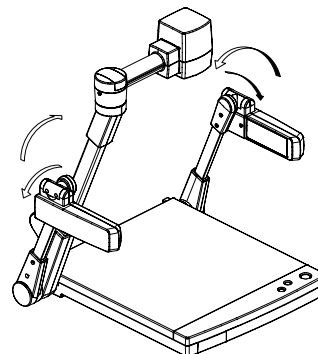
参考 0.5m～∞にピントが合います。



6. 本体の収納

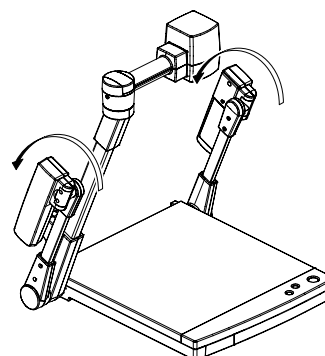
- (1) 電源スイッチをOFFにして、電源コードおよびビデオケーブルを抜きます。

- (2) 照明ランプ部、照明アーム部を閉じます。



- (3) 照明ランプ部を右図の位置まで回転させます。

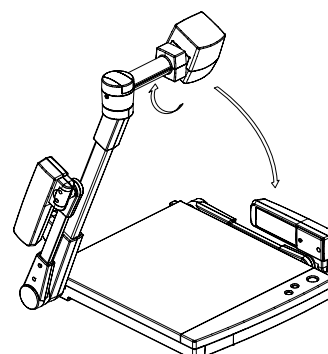
〔注〕 照明ランプ部は必ず右図の位置にしてください。
ほかの位置で収納しますと、照明ランプ部を傷めることがあります。



- (4) 照明アーム (R) 部を倒し、カメラヘッドを右図の位置 (カメラヘッドを背面パネル側へ少し回転させた状態) まで回転させます。

〔注〕 照明アーム (L) を単独で倒すことはできません。

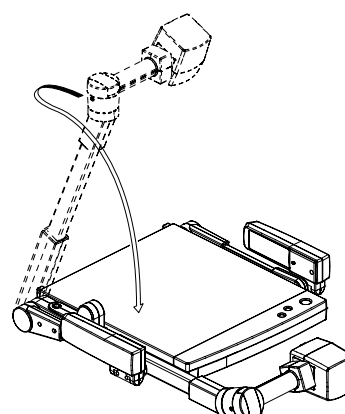
〔注〕 カメラヘッドは必ず右図の位置にしてください。
ほかの位置で収納しますと、カメラヘッドやレンズをいためることがあります。



- (5) 支柱を一度起こしきってから支柱を倒します。

〔注〕 支柱は右図の位置が所定の収納状態です。絶対に無理な力を加えないでください。

〔注〕 持ち運びの際には、カメラヘッドアーム部を持たないでください。



7. 各種機能

○照明

印刷物などの資料を提示するための照明が標準装備されています。

リモコンの【照明】（LAMP）ボタンを1回押すごとに、L側ランプのみ点灯→L側・R側ランプ消灯→L側・R側ランプ点灯、を繰り返します。

参照 メニュー P.24

参考 L側ランプのみ点灯した状態でR側照明ランプ部を収納すると、大きい資料を有効に移動することができます。

【注】 照明ランプは資料面の照度が不十分なとき、あるいは立体物を提示する場合にご使用いただけますと、演色性の良い鮮明な映像が得られます。

リモコン



○ズーム（倍速機能付）

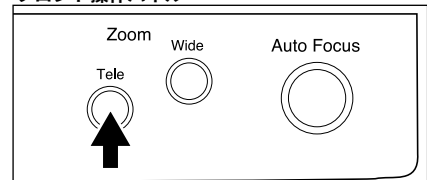
（本体カメラ映像のみ有効）

10倍の光学ズームが可能です。

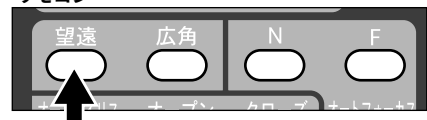
フロント操作パネルの【TELE】ボタンまたはリモコンの【望遠】（TELE）ボタンを押すと、映像のサイズが徐々に大きくなります。

【注】 ズームボタンを約1秒押し続けると倍速でズームリングします。

フロント操作パネル



リモコン

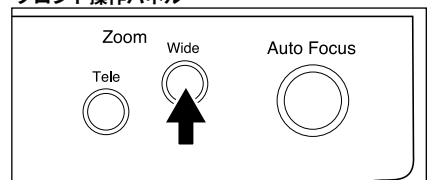


フロント操作パネルの【WIDE】ボタンまたはリモコンの【広角】（WIDE）ボタンを押すと、映像のサイズが徐々に小さくなります。

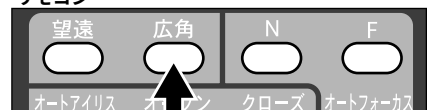
参照 メニュー P.24

【注】 ズームボタンを約1秒押し続けると倍速でズームリングします。

フロント操作パネル



リモコン



○ポインター

(RGB出力のみ有効)

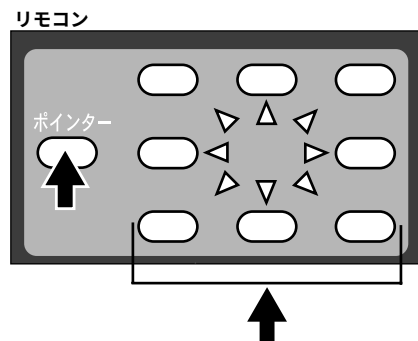
リモコンの [ポインター] (POINTER) ボタンまたはマウスの左クリックでポインターを表示します。リモコンの矢印ボタンまたはマウスでポインターが移動します。

再度、リモコンの [ポインター] (POINTER) ボタンを押すか、マウスの左クリック(OSDの表示切換えも伴います)でポインターは消えます。

参照

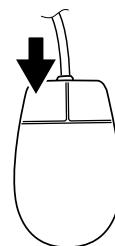
- ・メニューの表示とマウス操作について P.23
- ・メニュー P.24

[注] ポインターは、RGB出力端子 [RGB OUT] の出力映像のみ表示されます。ビデオ出力端子 [VIDEO OUT] の出力映像には表示されません。



マウス

表示
消去



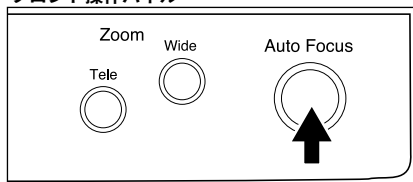
○フォーカス

(本体カメラ映像のみ有効)

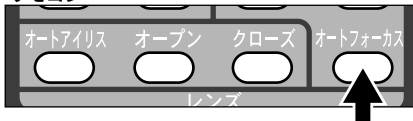
●オートフォーカス

フロント操作パネルの [AUTO FOCUS] ボタンまたはリモコンの [オートフォーカス] (AF) ボタンを押すとオートフォーカス動作します。オートフォーカス動作中はフロント操作パネルの表示ランプが点滅し、被写体にピントが合うと点滅が終わります。

フロント操作パネル



リモコン

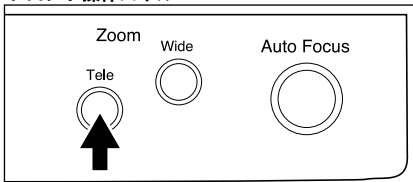


本機はワンショットオートフォーカス方式です。一度ピントが合うとオートフォーカス動作は解除されるので、その時のピント位置を維持します。フロント操作パネルの [TELE] ボタンまたはリモコンの [望遠] (TELE) ボタンを押して被写体の映像サイズを最も大きくした状態でオートフォーカスを動作させると、より高精度な映像になります。

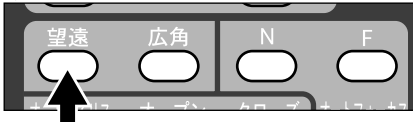
参照

- メニュー P.24

フロント操作パネル



リモコン



下記のような被写体は、オートフォーカスではピントが合わない場合があります。この場合は、マニュアルフォーカスでピントを合わせてください。

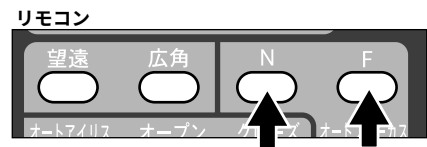
- ・ 明暗の差（コントラスト）の少ない被写体
- ・ 横縞、格子模様など細かい繰り返しパターン
の被写体
- ・ 輝いていたり強い光を反射して光っている被写体
- ・ 被写体の背景が明るいときや、明暗がはっきり
しすぎているとき
- ・ 画面全体が暗いとき
- ・ 立体的な被写体や被写体が遠くと近くに共にあ
るとき
- ・ 動く被写体

オートフォーカス動作中にリモコンのマニュアルフォーカスボタン [N] (NEAR) ・ [F] (FAR) を押すと、オートフォーカス動作は解除されます。

[注] ピントが合う範囲は、ズーム [望遠] (TELE) 最大側でステージから約15cmの高さまでです。(クローズアップレンズホルダが装着されている状態)

[注] カメラヘッド部になんらかの強い衝撃が加えられた場合、ピントがずれることがあります。このような場合は電源スイッチをOFFにして、再度電源スイッチをONにしてください。

[注] オートフォーカスにおいて、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
あらかじめ、マニュアルにてフォーカスの粗調整をしてから、[オートフォーカス] (AF) ボタンを押してください。



●電動マニュアルフォーカス

立体資料などの任意の部分にピントを合わせるときに使用します。

リモコンのフォーカスボタン [N] (NEAR) ・ [F] (FAR) を押します。

参照 メニュー

P.24

[注] ピントが合う範囲はステージから約15cmの高さまでです。(クローズアップレンズホルダが装着されている状態)



○アイリス（絞り）

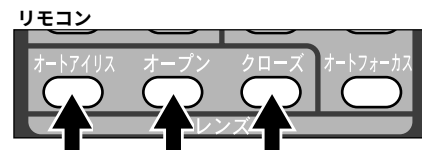
（本体カメラ映像のみ有効）

レンズのオートアイリスレベルを調整することができます。

リモコンの【オープン】（OPEN）ボタンを押すと、アイリスが開きます。

【クローズ】（CLOSE）ボタンを押すと、アイリスが閉じます。

【オートアイリス】（AUTO IRIS）ボタンを押すと、初期設定に戻ります。



参照 メニュー

P.24

【注】 画面の明るさが暗く感じるときは、リモコンの【オープン】（OPEN）ボタンを押して、画面の明るさを調整してください。

○フリーズ

リモコンの【フリーズ】（PAUSE）ボタンを押すと、本体カメラの画像が静止します。

再度【フリーズ】（PAUSE）ボタンを押すと、フリーズが解除されます。



参照 メニュー

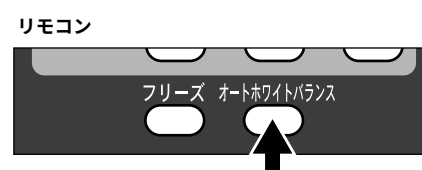
P.24

【注】 フリーズ時に他の操作を行った場合、フリーズが解除されます。

【注】 ビデオ出力端子【VIDEO OUT】の映像出力は静止しません。

○オートホワイトバランス

リモコンの【オートホワイトバランス】（AWB）ボタンを押すと、その時の色温度のホワイトバランスに自動調整します。



参照 メニュー

P.25

○パソコンリンクソフト「Image Mate」について

「Image Mate」をパソコンにインストールすることにより、次の操作ができます。

- ・パソコンへの画像データ転送
- ・パソコンによる本機の操作

詳しくは、「Image Mate」のインストール説明書とCD-ROMの中の「manual.pdf」を参照してください。

8. OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）

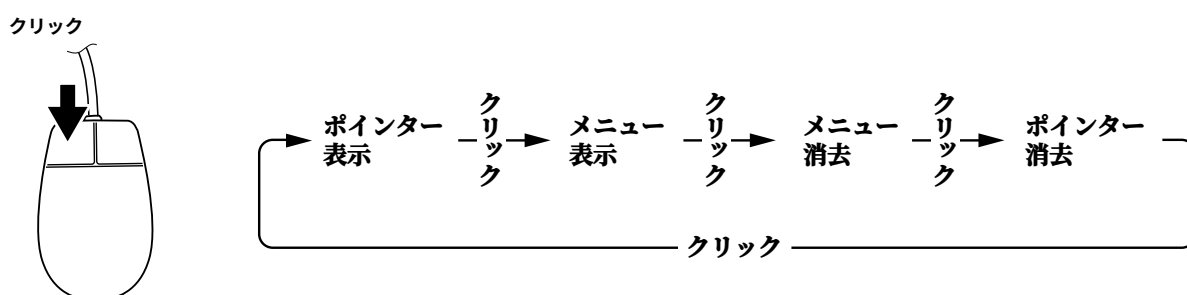
OSD（オン・スクリーン・ディスプレイ）とは、スクリーン上に表示される操作メニュー（以下メニュー）を意味します。このメニューによって、マウスによる本体の操作が可能となります。

〔注〕 マウスを使って本体の操作をするときは、本体のRS-232C端子〔RS-232C〕とマウス（本機付属品）を接続してください。

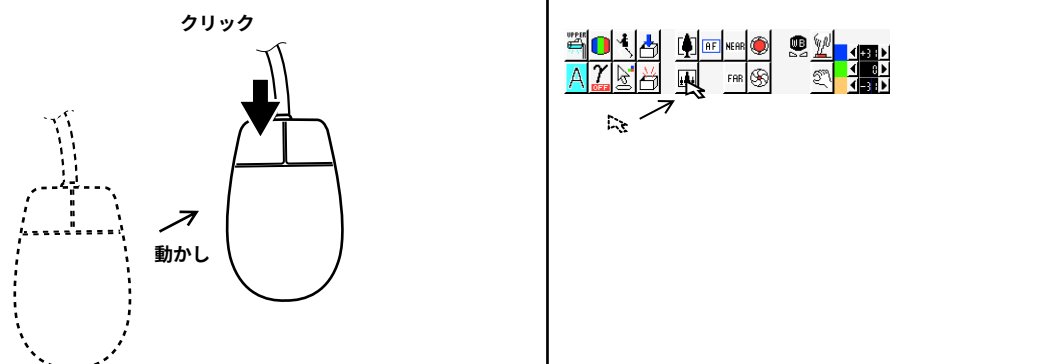
〔注〕 OSDは、RGB出力端子〔RGB OUT〕の出力映像にのみ表示されます。
ビデオ出力端子〔VIDEO OUT〕の出力映像には表示されません。

○メニューの表示とマウス操作について

マウスを左クリックすると、以下のようにメニューとポインターが表示されます。



メニューを操作するには、マウスを動かして、メニューのアイコンへポインターを合わせ、左クリックします。
アイコンが押されて、各機能が設定されます。



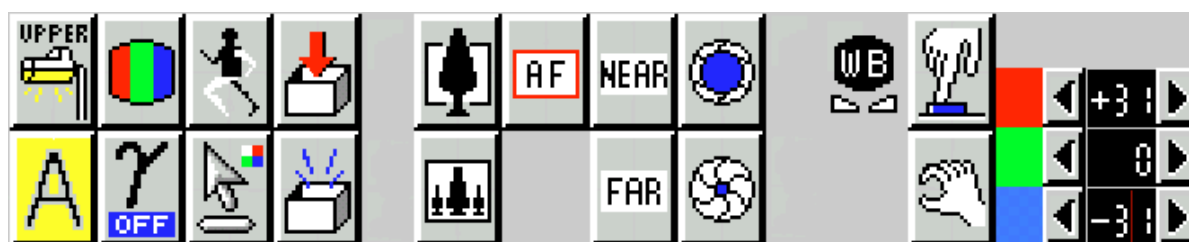
・右ボタン.....使用しません

ポインターの操作方法については、P.19をご覧ください。

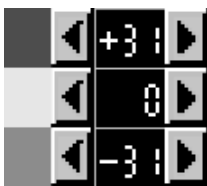
〔注〕 OSD表示は、プロジェクターなどを使用して、大きな投影サイズでお使いになることを前提に設計されております。手元のモニターおよびテレビなどでは、表示が見えにくいことがあります。

○メニュー

メニューの項目は、マウスの左クリックにて設定します。



アイコン	名 称	機 能
	資料照明切換	資料照明のON/OFFを切換えます。OSDメニュー立ち上げ時は、前回のセーブ内容に設定されています。マウスでこのアイコンを左クリックするごとに照明が、2灯→1灯（左）→消灯の順に切換わります。
	カラー白黒切換	画面のカラー／白黒の設定を切換えます。OSDメニュー立ち上げ時の状態はカラーです。マウスでこのアイコンを左クリックすると、アイコンが変わり、白黒に設定されます。
	フリーズ	静止画／動画の設定を切換えます。OSDメニュー立ち上げ時の状態は動画です。マウスでこのアイコンを左クリックすると、アイコンが変わり、静止画に設定されます。 [注] フリーズ時に他の操作を行った場合、フリーズは動作しません。
	オートフォーカス	オートでフォーカスを合わせます。マウスでこのアイコンを左クリックすると動作します。
	ズーム 望遠／広角	レンズのズーム調整を行います。マウスでこのアイコンを左クリックし続けると動作します。
	フォーカス NEAR／FAR	レンズのフォーカス調整を行います。マウスでこのアイコンを左クリックし続けると動作します。
	アイリス 閉／開	レンズのオートアイリスレベルの調整を行います。マウスでこのアイコンを左クリックし続けると動作します。
	ポインター	画面上のポインターの色と形を変更するときに使用します。マウスでこのアイコンを左クリックするごとに、ポインターの色は、白→赤→緑→青の順に切換わります。

アイコン	名 称	機 能
	ホワイトバランス	ワンプッシュホワイトバランスとマニュアルホワイトバランスが選択できます。マウスで左クリックすると切換わります。
	ワンプッシュ	ワンプッシュホワイトバランスの設定になります。マウスで左クリックすると、そのときの色温度のホワイトバランスに固定します。
 	マニュアル	ホワイトバランスを〈RED〉〈GREEN〉〈BLUE〉で設定することができます。ボリュームバー横の矢印ボタンを左クリックして調整してください。 〈RED〉 ……赤色成分の調整をします。(-31～+31) 〈GREEN〉 ……緑色成分の調整をします。(-31～+31) 〈BLUE〉 ……青色成分の調整をします。(-31～+31)
	アパーチャ切換 ON/OFF	映像のメリハリ（エッジ強調）を切換えます。OSDメニュー立ち上げ時は、前回のセーブ内容に設定されています。 工場出荷時はONに設定されています。
	ガンマ切換 ON/OFF	ガンマ設定値（1.0/0.6）を切換えます。OSDメニュー立ち上げ時は、前回のセーブ内容に設定されています。 工場出荷時はOFF（1.0）に設定されています。
	状態保存	現在の状態・調整値を保存します。照明のON/OFF、アパーチャ、ガンマ、マニュアルホワイトバランスの〈RED〉〈GREEN〉〈BLUE〉の各ゲイン値、オートアイリスレベルを記憶します。
	初期化	調整値を工場出荷時に戻します。

9. 蛍光ランプの交換

照明ランプ（蛍光ランプ）は消耗品ですので、チラツキだしたり暗くなったときは取り換えてください。

〔注〕 照明ランプはPanasonic製ツイン蛍光灯（9ワット）FPL9EX-Nをお買い求めください。

〔注〕 ランプの交換は、お買い上げの販売店か本書裏表紙記載の修理センターにご相談ください。

10. 故障かな？と思ったら

現象	この点を確認してください
映像が出ない	・ 正しくビデオケーブルが接続されていますか。 ・ 電源プラグが壁側コンセントから外れていませんか。 ・ 電源コードが本機の電源受け口から外れていませんか。 ・ 電源スイッチが入っていますか。 ・ ズームが望遠になって映している資料の白い部分（または黒い部分）だけを見ていませんか。 ・ 電源スイッチをOFFにした直後にONした場合は、機器が作動しないことがあります。電源OFF後、数秒おいてから電源スイッチをONにしてください。 ・ 入出力切換スイッチについて、接続機器に合った正しい選択がされていますか。（P.10、P.14 参照）
画像のピントが合わない	・ 原稿（被写体）がレンズに近づきすぎ、ステージ面から15cm以上の高さになっていませんか。 ・ 広角（ワイド側）でピントを合わせたのち、ズームを望遠側にしていませんか。 ピントは望遠最大の所で合わせてください。 ・ オートフォーカスの場合、ピントが合わせにくい場合があります。
照明ボタンを押してもすぐに点灯しない	・ ランプ保護のため、約2秒間予熱をした後点灯させています。故障ではありません。
映像が暗すぎる	・ 照明が不足していませんか。照明ボタンを押してランプを点灯してください。
印刷物の映像に縞模様が出る	・ 印刷物の網点とテレビの走査線の干渉縞ではありませんか。映る範囲を変えると軽減される場合があります。 ・ プロジェクターでは画面に縦縞が現われることがあります。プロジェクター側のトラッキングをマニュアル調整することで軽減することができます。
輝度階調が合わない	・ ガンマ設定の切換えを行うと軽減される場合があります。
画像にフリッカが出る	・ 50Hzで点灯している放電管の光が画面に入っていませんか。入出力切換スイッチの [B] キーを [1] 側（50Hz）にすると軽減される場合があります。（P.10 参照）

以上のことをお確かめのうえ、異常があるときは、お買い上げの販売店かプロジェクターインフォメーションセンター（裏表紙）までご相談ください。

11. 仕様

●総合仕様

項 目	内 容		
電源	AC100V 50Hz/60Hz		
消費電力	55W		
外形寸法	幅500mm 奥行612mm 高さ99mm（収納時） 幅706mm 奥行403mm 高さ575mm（セットアップ時）		
質量	6.5kg（本体のみ）		
出力端子	コンポジットビデオ出力	RCAピンジャック／75Ω不平衡	×1
	RGB出力	ミニ D SUB 15P コネクタ メス	×1
入力端子	RGB入力	ミニ D SUB 15P コネクタ メス	×1
外部制御端子	RS-232 C	D SUB 9P コネクタ オス	×1
	USB	タイプB レセプタクル	×1

●カメラ部仕様

項 目	内 容	
撮影レンズ	f=5.8mm～58mm（光学10倍ズーム） F 2.8	
ズーム	光学10倍 倍速機能付電動ズーム	
撮像範囲	最大 横340mm 縦252mm 最小 横37mm 縦28mm	
焦点調節可能範囲	ステージ面～ステージ面上150mm 0.5m～∞（カメラ横向き・クローズアップレンズなし）	
フォーカス	オート／マニュアル	
アイリス	オート（レベル調節可能）／マニュアル	
撮像素子	1／3型 CCD	
有効画素数	水平1024 垂直768	
総画素数	水平1077 垂直788・・・85万画素	
映像信号処理	デジタルシグナルプロセス（DSP）	
同期方式	内部	
RGB出力解像度	水平600TV本以上 垂直600TV本以上	
S／N	48dB	
映像出力レベル	RGB出力	信号周波数 XGA 水平周波数 48.363kHz 垂直周波数 60.004Hz （1024×768@60Hz） VESA準拠
	インターレース RGB出力	NTSC準拠 水平周波数 15.734kHz 垂直周波数 59.940Hz PAL準拠 水平周波数 15.625kHz 垂直周波数 50.000Hz
	コンポジット ビデオ出力	NTSC／PAL準拠
ホワイトバランス	オート／ワンプッシュ／マニュアル	
シャッター切換	可能 50Hz地域用／60Hz地域用（1／15s、1／16.67s）	
カラー／白黒切換	可能	

●照明装置

項 目	内 容
照明	高周波点灯方式、ツイン蛍光灯 9ワット（型名：FPL9EX-N）

●付属品

・ ELPDC04

名称	数量
電源コード	1
ビデオケーブル (3m)	1
コンピュータケーブル (ミニ D SUB 15P コネクタ)	1
マウス	1
CD-ROM 「Image Mate」 (パソコンリンクソフト)	1
USBケーブル	1
CD-ROM 「Image Mate」 インストール説明書	1
赤外線ワイヤレスリモコン	1
リモコン和文操作パネル	1
単4形乾電池	2
ELPDC04取扱説明書	1
保証書	1

[注] 仕様は予告なしに変更することがありますが、ご了承ください。

12. 保証とアフターサービス

保証書（別に添付しております。）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、お買い上げの販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日から1年間です。

ただし、蛍光灯の消耗による輝度低下は除きます。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後、最低5年間保有しております。

アフターサービス等についておわかりにならないとき

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」や、組み合せた機器の「取扱説明書」をご覧ください。直らないときは必ず電源プラグを抜いてから後の処理をしてください。

●保証期間中は

お買い上げの販売店にご連絡ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

●保証期間が経過後（終了後）は

お買い上げの販売店に、まずご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。

インターネット エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。

FAQ <http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570-004141 (全国ナビダイヤル) 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTの電話サービスの名称です。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042) 582-6888までお電話ください。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●修理品送付・持ち込み・ドア to ドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込み頂くか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	ドア to ドアサービス 受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1丁目 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	同 右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-9995 ドア to ドア専用 受付電話 365日受付可	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱		042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	同 右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	同 右	098-852-1420

*「ドア to ドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡下さい。

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承下さい。【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30(祝日・弊社指定休日を除く)

*修理について詳しくは、ホームページアドレス<http://www.epson-service.co.jp>でご確認下さい。

●プロジェクターインフォメーションセンター 製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570-004110 (ナビダイヤル) ※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00(祝日・弊社指定休日を除く)

*ナビダイヤルはNTTの電話サービスの名称です。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●FAXインフォメーション EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011) 221-7911 東京(042) 585-8500 名古屋(052) 202-9532 大阪(06) 6397-4359 福岡(092) 452-3305

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認できます。

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル

【開館時間】 9:30～17:30(土日、祝祭日、弊社指定休日を除く)

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋

【開館時間】 9:30～17:30(土日、祝祭日、弊社指定休日を除く)

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！ <http://myepson.i-love-epson.co.jp/>

▶ カンタンな質問に答えて
会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認下さい。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社 フリーダイヤル0120-251528 でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5